

『PCA 固定資産DX』

Ver.1.0 Rev.2.03 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH180301

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。
操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《全体》

◇ 公益法人領域、社会福祉法人領域において異なる会計区分、異なる事業区分に配賦対応

公益(社福)領域において、会計(事業)区分間をまたいだ配賦が可能になりました。
また償却額の仕訳、国庫補助金の取崩の仕訳、リース料の支払の仕訳において配賦した金額で仕訳作成できるようになりました。
帳票において配賦額を確認することも可能です。

《台帳・一覧、予定額一覧》

◇ 月次償却額配賦一覧(当期償却額配賦一覧)、月次支払リース料配賦一覧、償却予定額一覧(償却額配賦一覧を選択時のみ)、支払リース料予定額配賦一覧

条件指示の並び順で「配賦先会計(事業)区分」「会計(事業)区分」を未指定でも集計可能になりました。

《随時》

◇ 仕訳データの作成

メニューの設定 - 印刷確認をチェックすることにより、仕訳の転送(出力)時に印刷を行うかの確認メッセージを出すことが可能になりました。

◇ 連動コード設定

- ・『PCA医療法人会計』との連動時に支払リース料(販管費)・再リース料に「732 器機賃借料」、支払リース料(営業外費用)に「829 他医業外費用」が初期値として表示されるようになりました。
- ・『PCA会計』『PCA医療法人会計』『PCA建設業会計』との連動時に有姿除却益、有姿除却損に「除却益、除却損で表示される初期値科目」が初期値として表示されるようになりました。